

# パウダーレスインキ「キレイナ」の実力 (広告)

## 12. スピードが命 [第三インプレッション]

第三インプレッション (株) (久米信廣社長, 埼玉県川口市) は, 住宅や不動産, 建築関係のマーケティングを行う第三企画 (株) (1980年創業) の印刷部門を 2007年に分離, 統合し, 第三企画印刷 (株) (当時) として始まった印刷会社である。第三企画から不動産のチラシ類やポスターなどの印刷を受注しており, 刷版から印刷, 加工, 梱包, 配送までを一貫して手掛けている。

第三企画の高見和彦取締役によると, 不動産関係は, とにかく“納期が短い”という。土曜・日曜に消費者が住宅展示場を訪れた様子を見て不動産会社は価格を修正し, 月曜・火曜にチラシのデザインが変更され, 木曜には印刷を完了して週末の新聞にチラシが折り込まれる。一週間単位で制作から印刷, 配送までのすべてを完了させなければならないスピードが命の仕事だ。同社は顧客のデザイン修正をぎりぎりまで待てるように, 刷版のデータ処理工程の整備に気を配っている。

### 水なし印刷でパウダーレス

第三インプレッションの印刷設備は現在, 四六全



四六全判8色機。インキをキレイナにしたことで, パウダーに起因するクレームもなくなり, 顧客に安心して成果物を渡せるようになった

判8色機が3台と四六半裁判4色機が1台。同社は2013年より, 環境対応として水なし印刷を導入したが, 機械の老朽化に伴う水あり印刷の色ムラやファンナウト, グレーズといった問題が, 水なしへのリノベーションで解決したという。

水なし版は平凹版でインキが盛れ, また, インキが硬く立ち気味になる。加えて両面印刷となれば, 印刷時にはスプレーパウダーを大量に散布せざるを得なかった。工場内や印刷機はパウダーで真っ白になり, 清掃やメンテナンスに時間を取られていた。さらに, 第三インプレッションが手掛ける仕事の中には, 同社が片面を印刷, 納品したものに顧客が自前のプリンタで反対面に追い刷りして使うものもある。大量に散布されたパウダーがプリンタに影響し, 紙詰まりするなどのクレームが発生していた。

T&K TOKA はキレイナ発表後, 水なし印刷用インキ「ベストワン キレイナ アルポ」の開発も加速的に進めていた。他社での評価は上々であり, 2015年7月, 同社は8色機に導入した。

「採用前は, 特殊ビーズの水なし版への影響や



同社の仕事は平均1万ロット。印刷してから5分で断裁に移ることもある

ブラン残り, 裏移りなどが心配でしたが, テストしたところ問題なく, 少しずつ試しながら導入していきました。キレイナを使い始めてから今では, パウダー散布量が3分の1です。そのため印刷機も工場内も清潔になり, 清掃やメンテナンスにかかる時間が半分以下となり, その分の時間を生産時間に充てることができました」と, 印刷現場の管理を担当する山川英樹氏 (執行役員 印刷部長) と曾根原良弘氏 (管理責任者) は話す。

さらに第三インプレッションもメーカーも予想していなかった, 次のようなメリットもあったという。

### オールシーズンで使えた

「キレイナ アルポ」は, 特殊樹脂と特殊ワニスの効果により, 従来水なしインキに比べ, 軟調でも地汚れしにくく, 着肉良好で濃度管理しやすく, グロスが高いのも特徴の一つだ。

インキは温度による硬さの変化が大きい。とくに水なし印刷の場合, 暑さで軟らかくなる夏は地汚れが, 寒さで硬くなる冬はエッジピックが発生しやすい。そのため一般的には, 季節により使用するインキの硬さを変える場合がある。同社は通常, 墨以外は硬めのインキを使っているそうだが, 「気づいたら, キレイナにしたこの冬は硬さを変えずにそのままオールシーズンで使えてしまいま

した (笑)」 (曾根原氏)。

濃度が向上, コスト減にも

不動産関係はメリハリを出すためベタや重い絵柄の仕事が多い。その場合, 従来のインキでは, インキをかなり盛っていたが, キレイナにしたところ着肉が良く, 薄盛りでも濃度が出るため, インキ壺のキーを下げる事ができた。結果, 使用量が2~4割ほど減った仕事もあったという。

水なし印刷, そしてキレイナを導入したことは, 大きなプラスをもたらした。

印刷面では排水処理や水棒メンテナンスが不要, インキ面では前述のメリットが享受でき, 材料・時間・エネルギーなどの多方面で大きなコスト削減となった。「まだ従来のインキに比べてキレイナ自体の価格は高いので, 今後の低価格化を期待したいですが, 得られたメリットを考えれば今の時点でもすでにお釣りがくるくらいになっています」 (山川氏)。

同社にとってキレイナの導入は, 水なし印刷の品質と短納期対応という武器をさらに補強するものとなった。T&K TOKA は今後, 水あり印刷用, 水なし印刷用ともに, 油性インキのキレイナ化を加速していく。そのためにもさらなるインキのレベルアップや価格対応を推し進める。導入から半年あまりが経つ第三インプレッションでも, さらにキレイナ効果が高まるであろう。 (つづく)

革新的なパウダーレスインキ「ベストワン <sup>キレイナ</sup> KIRÉINA」誕生。

BEST ONE  
**KIRÉINA**

キレイな印刷  
キレイな加工  
キレイな機械  
キレイな工場

T&K TOKA <sup>®</sup>

株式会社 T&K TOKA <http://www.tk-toka.co.jp>  
TEL 049-258-1611(代表) 埼玉県入間郡三芳町竹間沢283-1 〒354-8577